

300号記念特集号

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

2023年
300号
5月17日(水)

2、3面に 300号記念 座談会

今月号は「ねんきん越谷」300号記念特集号です。従来のB4サイズ2面を4面として、2、3面には特集号の記事として特別座談会の記事、「ねんきん越谷」の歴史、5班の世木澤愛子さんからの300号記念絵手紙を掲載しました。特別座談会は飛山幸夫さん、宇佐美忠利さん、吉田健治さん、大野幸男さんの4人で、司会を吉田正美さんをお願いしました。

埼玉本部からの お祝いのメッセージ

「ねんきん越谷」300号おめでとうございます。

1993年4月20日創刊から30年間の偉業です。この間発行に携わった役員と投稿に協力された皆さんの努力に改めて敬意と感謝を表します。岸田政権の憲法違反の大軍拡増税による年金、医療、介護などの社会保障制度改悪にストップをかけ、戦争を絶対させない、暮らしと平和を守るために本紙が威力を発揮することが必要です。

大手マスコミが、政府に付度をして社会の木鐸としての機能を発揮していない今日、本紙が500号に向けて更に努力をされること期待大です。
年金者組合埼玉本部
執行委員長 宇佐美 忠利

第67回シテイウォーク 初参加者2名を迎え 柏市郊外の「柏の葉公園」

第67回シテイウォークを実施した5月6日(土)は、日本全国が雨の中、なんと関東地方だけが晴れ、参加者の皆さんの心がけの良さがうかがわれました。ゴールデンウイークも後2日、行き帰りの渋滞も関係せず、新型コロナウイルスの対応も規制なしで新緑の中で外歩きをしてみたいという方が増えたからでしょうか。今回、集合場所の南越谷駅南口広場に9時に集まったのは、吉田健治、都築タイ子、島根皓夫、不破千代江、坂本正明、森山久子、古川正治、橋本キミ、長谷川昌弘、曾我光枝、足立秀機、石山京子、五十嵐光範、浅崎修子、舟山幸吉、舟山弘子、川下健一、草薨恵美子、大野幸男さんの19人、参加者が2桁を超えたのは久しぶりです。そのうち都築さんと舟山幸吉さんはシテイウォーク初参加です。今回の行先は越谷近郊を離れ、柏市郊外の「柏の葉公園」です。「南越谷駅」から武蔵野線で6駅「南流山駅」で筑波エクスプレス線に乗り換え「柏の葉公園」乗換バスで下車。

この日は千葉県の中、高校のブラスバンドのイベントをやっていました。園内の大きな池のほとりにあるレストハウスの屋外のベンチ、テーブルを4つ使って昼食。陽射しも強く、持参、途中購入の缶ビールがおいしく感じられました。昼食後、イベントをやっていた13のブラスバンドの隊列が演奏しながらのパレードを見学できたのはラッキーでした。「柏の葉公園」にはユリノキの並木があり、ちょうど黄色い花が満開のようでした。長谷川さんによれば働いて2、3年は全く花に気づかなかったとの事です。ご苦労さん会は人数が多かったため入れず、希望者のみで行いました。



ここからは、「柏の葉公園」で10年ほど働いていたという長谷川さんが案内してくれました。「柏の葉キャンパス」には東京大学、千葉大学などのキャンパスがあります。長谷川さんによれば、平日ならキャンパス内を通りぬける近道があるそうです。この日はあいにくの土曜日。でも駅から20分程で公園につきました。園内のバラ園は見事なバラが盛り。休憩して記念写真をとりました。

点 睛

ねんきん越谷」の 発行に携わって

私は2009年に60歳で定年を迎え2010年に年金者組合に入り、2011年から機関紙編集責任者になり、今でも発行に携わっています。「ねんきん越谷」は今号で300号特集号を迎えました。この間の私と機関紙発行の思い出を振り返ってみたいと思います。

私が機関紙にかかわったきっかけは当時機関紙責任者だった故樋口昭雄さんに、パソコンでの機関紙づくりを定常化したのでいいしょにやってくれないかという申し出を受けたからです。私は現役の時に某コンピュータ会社で働いていたためパソコンも一般に出始めた時から仕事で操作していましたので、この経歴を買われたのだと思います。私が実際に関係しはじめたのは、2010年の146号くらいからだったように記憶しています。当時は毎号パソコンを使って記憶していません。吉田健治さんがワードプロセッサで記事をまとめ、伊東正人さんが職人はだの手つきで切り貼りして編集していた記憶があります。定期的にパソコンで編集するために、以前機関紙づくりをしていた山本英朗さんが自費で購入した「パーソナル編集長」を使うことになりました。

2013年の支部結成20周年記念の時には、今まで紙の状態で保存されていた1号から182号までの機関紙を一枚のCDに記録のために収め、せっかくなので1枚500円で希望者に販売しました。2019年からは森秀夫さんが編集責任者になりました。今年支部結成30周年記念になります。今回は機関紙の1号から300号までを一枚のDVDに収めて記録することになりました。一枚500円程度で希望者にお分けしますので、是非購入して1号から300号までご覧になってみてください。興味深い記事や写真、懐かしい人、思い出を見つけてください。吉田健治さんと伊東正人さんは時間や労力がかっても、欠号をださないように頑張りました。毎月一回の機関紙作成と配布は大変な作業ですが「継続は力」です。次は400号まで続けましょう。(五十嵐光範)

「ねんきん越谷」300号記念として、1号～300号まで一枚のDVDにして
今年行われる越谷支部第31回総会の時に、希望者に販売します (1枚500円)